

# 皆さまから寄せられたご意見

## ～意見要旨（案）～フェーズ4においても多様なご意見が寄せられました

ご意見は、説明会（平成29年11月～平成30年2月の間に開催）で寄せられたご意見、「羽田空港のこれから」ホームページからのご意見、特設電話窓口からのご意見など、平成30年4月30日までの意見を対象としました。

〈ご意見の整理方法〉  
意見要旨は、寄せられたご意見から皆さまの関心事に着目して整理し、国土交通省が受け取った内容を取りまとめたものです。少数の意見であっても配慮すべき関心事にはしっかり着目する必要があるため、意見の多寡にとらわれず整理しています。意見要旨をご覧になり、重要な意見が漏れているとお感じの方は、ホームページや特設電話窓口、説明会にて是非ご意見をお寄せください。

○の意見要旨：フェーズ4で新たに見られた意見要旨  
その他の要旨中の下線部：フェーズ4の意見要旨に変更・細分化された部分

## 1. 羽田空港国際線増便の必要性和実現方策

### 羽田空港国際線増便の必要性

#### 【国際競争力の強化】

- 国際競争力、都市機能の向上やグローバル化に向けて、羽田空港の機能強化に期待している。
- 国際ハブ空港を目指して発展して欲しい。
- 騒音や安全性への懸念などにより、むしろ首都圏の競争力・魅力が低下するのではないか。

#### 【経済活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 経済発展のためには羽田空港の機能強化は必要だと思う。
- 住民の生活よりも経済を優先させる計画には納得がいかない。
- 羽田空港の国際線が充実することで、ビジネスの機会が創出されることを期待している。

#### 【地方活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 利便性が上がっても羽田空港周辺の地域にはメリットが感じられない。
- 地方活性化を目指すのならば、直接地方空港を活用すべきではないか。

#### 【観光、インバウンド】

- 訪日旅行者数の増加に対応するため羽田空港の機能強化は必要だ。
- 訪日旅行者数の動向にはリスクがある。需要や伸びを過剰に見積もっているのではないか。
- 訪日旅行者数の増加や利便性向上よりも、住民の生活環境を重視してほしい。

#### 【学術・文化の振興】

- 海外との文化や芸術などの交流機会が増える。

#### 【海外渡航の利便性（アウトバウンド）】

- 海外への渡航がより便利になり、海外旅行等の機会が増える。

#### 【オリンピック・パラリンピックとの関連】

- 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて機能強化は重要である。
- 東京オリンピック・パラリンピック大会を理由に機能強化することは疑問である。
- 増便するのは東京オリンピック・パラリンピック大会期間限定にしてほしい。

#### 【人口減少】

- 人口が減少し需要が下がっていくのに、増便をする意味があるのか疑問だ。
- 人口減少時代を迎え、外国との人の往来を増やすことは重要だ。

#### 【成田空港との連携・住み分け】

- 羽田空港だけでなく、成田空港の機能強化も検討してほしい。
- 羽田空港の機能を強化しなくても、更なる増便やアクセス改善等により成田空港をもっと活用すれば十分ではないか。
- 羽田空港と成田空港との機能分担を踏まえた検討が必要ではないか。
- 羽田空港と成田空港とが一体的に運用することを考えた上で、機能強化の方法を検討する必要がある。
- 成田空港と連携するため、羽田・成田間の交通アクセスを良くしてほしい。

#### 【他空港との連携、機能分散等】

- 羽田空港の機能強化と併せて、他の空港を活用する必要がある。
- 羽田空港は既に過密状態で、これ以上の発着回数の増加は難しいのではないか。
- 羽田空港のみに集中させず、周辺の地方空港を活用してほしい。

#### 【新空港の建設】

- 羽田空港の機能強化ではなく、首都圏に新たな空港を建設すべきだ。

#### 【横田基地等の活用】

- 横田や厚木などの基地を活用するなどの方法は考えられないのか。

#### 【新幹線や船舶などの他の交通モード活用による機能分散】

- 国内移動は飛行機だけでなく新幹線、船舶などの他の交通手段を活

用して、分担すれば良いのではないか。

#### 【今後の更なる機能強化への期待】

- 将来的には今回の提案以上に便数を増やし、さらなる機能強化をはかってほしい。
- 深夜・早朝時間帯などもさらに活用してほしい。

### 羽田空港国際線増便の実現方策

#### 【飛行経路・滑走路運用・空域等の変更】

- 新飛行経路案以外の経路はないのか。
- なぜこのような新飛行経路が提案されているのかは理解できた。引き続き、影響を軽減するための方策を検討してほしい。
- 説明を聞いても、やはり住宅密集地上空の飛行には納得できない。
- できるだけ地域への影響を小さくするような実現方策の検討、配慮してほしい。
- 図示されている飛行経路から外れて飛ばないかが心配だ。
- 新飛行経路の検討において、横田空域の影響を受けているのではないか。空域の変更や拡大などにより、多様な経路が検討できるのではないか。
- 他の時間帯を活用すれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないか。
- 事業費をかけずに増便が可能な新飛行経路での機能強化は良いと思う。

#### 【滑走路増設】

- 抜本的な課題解決のためには、新たな滑走路増設とそれに合わせた飛行経路見直しの検討が必要ではないか。
- 滑走路を増設すれば、飛行経路の見直しは不要ではないか。

#### 【国際線と国内線の枠のバランス】

- 国内線の便数も増やしてほしい。
- 国内線の便数を減らして、それで国際線を増やせばよいのではないか。

#### 【その他】

- 国際線について、いきなり6万回から9.9万回まで増やすのではなく、段階的に増やしても良いのでは。
- これまで沖合展開などで騒音軽減を図ってきた歴史に逆行するのではないか。
- この提案でも国際線はそこまで増えない。根本的な解決にならない。

### 提案方策に関わる心配、懸念

#### 【音】

- 朝早い時間や夜遅い時間の発着による騒音が心配だ。
- 騒音が気になる。
- 大型機による騒音が心配だ。
- 住宅地やオフィス街を飛行するので、騒音影響が心配だ。
- 学校や医療機関、研究施設への影響が心配だ。
- 騒音による動植物への影響が心配だ。
- 病人や乳幼児、障がい者等の弱者への影響が心配だ。
- 今までなかった騒音が発生し、生活環境が大きく変わるのではないかと心配だ。
- 高速道路や飛行機などによる現状の騒音に、新飛行経路による飛行機の騒音が加わることで生活環境が更に悪化するのではないか。
- 新飛行経路を飛行する頻度が多いのが気になる。
- 騒音などの影響はある程度はやむを得ないのではないか。
- 騒音などの影響はあまり気にならないのではないか。
- 説明を聞いて、自分が住んでいる地域への音の影響がよく理解できた。
- 説明会で体験した音が思っていた以上に小さかった/大きかった。
- 屋内であれば安心できることが分かった。
- 機密性の低い建物への騒音影響が心配だ。

#### 【便数】

- 新飛行経路の運航便数（頻度）が多すぎるので、できる限り減らしてほしい。
- ピーク時の着陸料金を上げることで、国際線需要の分散をはかってほしい。

#### 【飛行経路】

- 騒音や安全性を考えれば、海や川の上など、できる限り住宅地や公共施設を避けた飛行経路とすべき。
- 飛行経路のプレを少なくしてほしい。
- 決められた飛行経路を遵守し外れることのないようにしてほしい。
- 飛行経路の設定・運用に当たっては、経路の分散も含めて、騒音負担の公平性を考慮してほしい。
- 着陸時の直線進入区間が長すぎる。もっと空港の近くで旋回するようにしてほしい。

#### 【その他】

- 高層ビルの高さや地形によって音の聞こえ方が違うと思うので考慮してほしい。
- 商業やビジネスの中心地の上空を通るので、騒音による生産性やイメージの低下が心配だ。
- A滑走路とC滑走路に同時に着陸する場合、挟まれた地域は音の影響が大きくなるのではないかと心配だ。

#### 【その他の環境影響】

- 発着回数の増加による大気汚染や自然環境の悪化が心配だ。
- #### 【安全】
- 新飛行経路は人の多い街中や住宅地を低空で飛行するので、事故によるリスクが高いのではないか。
  - 旅客機の飛行により、小型機やヘリの飛行に制約が生じ、墜落事故が起きないかと心配だ。
  - 工業地帯の上を通過するのはリスクが大きいのではないか。
  - 野鳥や渡り鳥などによりバードストライクが起きないかと心配だ。
  - 飛行機同士が衝突する事故が起きないかと心配だ。
  - 増便や時間帯により経路を切り替えることで管制官やパイロットの負担が増し、安全面への影響が出ないかと心配だ。
  - パイロット不足により安全運航に影響が出ないかと心配だ。
  - 悪天候時や自然災害時などの安全確保が心配だ。
  - 安全確保や騒音対策が講じられるので、新飛行経路になっても心配はしていない。
  - 新飛行経路の着陸はレーダーで誘導されて直線進入するので、管制官やパイロットの負担は軽減されるのではないかと心配だ。

#### 【落下物】

- 飛行機からの落下物により被害が生じないかと心配だ。

#### 【漠然とした不安】

- 飛行機が低空を通過することに、圧迫感や不安、ストレスを感じる。

#### 【不動産価値への影響】

- 住環境が悪化することで不動産の価値が下がったり、入居者が減少することを懸念している。
- 不動産の価格が下がるのであれば、物件を購入しやすくなるのではないかと心配だ。

#### 【関連施設の混雑】

- 国際線が増便されても国際線ターミナル施設や空港設備、アクセス機能が拡張されないと、混雑や利便性の低下が懸念される。

#### 【将来的な影響拡大への懸念】

- 将来的には運用時間帯が拡大されたり、発着回数の増加や更なる飛行経路の設定がされるのではないかと不安である。

#### 【高さ制限】

- 経路下の建築物が高さ制限を受けるのではないかと心配だ。

#### 【一般的懸念】

- 国際線の増便は必要だと思うが、騒音や安全性には気をつけてほしい。

#### 【その他】

- 航空機による振動が心配だ。
- 通信や電波障害などが心配だ。
- 健康影響が心配だ。
- 人の往来が増えることによる治安の悪化が心配だ。
- 飛行機がテロの標的とならないかと心配だ。
- 軍事施設の上空・空域を飛行することは問題とならないか。
- ヘリコプターの運用などに影響はあるのか。
- 他空港の事例から見ても、飛行機が飛ぶことにはやがて慣れていくのではないかと心配だ。

### 賛否のみの意見（必要性、実現方策）

- 羽田空港の機能を強化し、国際線を増便することに期待する。
- 提案された飛行経路には反対だ。

- 現在の滑走路の向きを変えれば、陸上への影響を少なくできるのではないかと心配だ。
- 新飛行経路の運用効率が良いのであれば、運用時間を増やしてほしい。

### 環境上の方策、その他の周辺対策に関すること

#### 【騒音対策、その他の周辺対策】

- 騒音への対策をしっかりとしてほしい。
- 騒音の状況に応じて、防音サッシの設置などによる防音工事をしたり、費用の補助をしてほしい。
- 学校活動や病院などの医療活動への影響に配慮して欲しい。
- 現在の制度にとらわれず、税の減免や補償金の支払いなどをお願いしたい。
- 新飛行経路による健康被害や経済的負担について補償してほしい。
- 騒音などの状況を踏まえて、補助する対象地域を広げてほしい。

- まちづくりや集会所の整備など、何らかの地元へのメリットを示してほしい。
- 騒音等の被害により引越せざるを得ない場合には、移転補償を行ってほしい。
- 不動産価値が低下した場合、補償をしてほしい。
- 対策に税金を使うのではなく、増便による受益者や利用者に負担を求め、影響を受ける地区にしっかり還元してほしい。
- 不動産価値への影響を調査したり、資産価値を維持するための方策も合わせて検討してほしい。
- 24 時間平均で飛行機の騒音を評価する環境基準の考え方はおかしいのではないか。

【**機体**】

- 飛行機から発生する騒音をより小さく抑える方策を検討してほしい。
- 騒音を抑制するために、大型機の制限を検討してほしい。
- より静かな機体の導入をぜひ進めてほしい。
- 騒音の大きさに応じて空港使用料に差をつけるのはよいと思う。
- 低騒音機の導入は航空会社次第なので、長期的にはともかく、即座に効果のある対策として期待できない。

【**現飛行経路の騒音対策**】

- 現飛行経路の騒音対策がなされないまま、新飛行経路が計画されるのは納得がいかない。
- 現飛行経路の騒音対策を更に講じてほしい。
- 現飛行経路について、早朝や夜間の騒音負担を減らしてほしい。
- 北風早朝時の A 滑走路北向き離陸左旋回は早期に廃止すべき。
- 新飛行経路と合わせて、現飛行経路や運用時間も見直してほしい。
- 航空会社への指導を徹底すべきである。
- 新飛行経路の運用が千葉の負担を軽減するとは思えない。

【**その他**】

- ヘリコプターや軍用機などの騒音が大きい。安全性も心配だ。
- 音というよりも省エネ・環境保全の観点から、住宅の二重窓助成ができないか。それが結果的に防音にもつながる。
- 現在提示されている騒音や落下物への対策だけでは不十分なので、更に検討し、具体策を示してほしい。

### 安全上の方策に関すること

【**安全対策の確実な実施**】

- 万が一の事故もないよう、安全基準や運用の徹底をお願いしたい。
- 事故が起きないように、万全の対策を講じてほしい。

# 3. 進め方（全体）

### 検討の進め方（動機、計画期間、決定主体等）

【**提案の動機**】

- 説明を聞いても、国際線の増便が必要となる理由が理解できない。
- 2020 年までという短期的な視点ではなく、もっと長期的なビジョンを持って検討してほしい。

【**検討期間、計画決定時期**】

- 新飛行経路の開始時期はいつか。
- 新飛行経路が決定するのはいつか。
- 計画検討に時間をかけ過ぎではないか。国際線増便をできるだけ早く実現してほしい。
- 計画の検討にもっと時間をかけるべきではないか。

【**決定主体**】

- 最終的な決定主体、決定方法をより明確に示してほしい。
- 国が決定するのではなく、住民投票などにより決定すべきではないか。
- 経路下の自治体の役割を明確にして、行政間の連携を図りながら検討を進めてほしい。
- 自治体の同意が得られていない中で、国が計画を進めようとしているのではないかと心配だ。

【**どこまで決まっているのか**】

- 提案は既に決定した事項か。経路の変更はあり得るのか。

【**継続的なコミュニケーション**】

- 今後も、継続的に説明会や対話の機会を設けてほしい。

### 検討の進め方（プロセス）

【**透明性**】

- 計画内容を決定する際の検討内容、意見のまとめ方や住民対話の進捗状況について積極的に公表してほしい。
- 住民からの意見を行政内部でしっかりと共有してほしい。
- 意見や主な質問に対する回答は、ホームページやニュースレター等を通じて幅広く共有してほしい。
- 新飛行経路検討の**プロセス**や進捗状況を明確に示してほしい。

【**公正性**】

- メリットとデメリットの両面について、客観的で公正性のある情報を示してほしい。
- 説明資料などで提供される情報やデータなどが意図的なものに感じられる。

【**受益と負担、公益性等のバランス**】

- 国全体の利益に加え、日常生活に影響のある人のことも考えて、慎重に検討を進めてほしい。
- 飛行経路をできるだけ分散させて、特定の地域のみが負担を負わないようにしてほしい。
- 広範囲にメリットがもたらされるとしても、負担は飛行経路下の一部の住民に集中するのは不公平だ。
- 多くの人が負担を強いられる一方で、国際線増便のメリットは一部の人にしか及ばないのではないか。
- これまで既に飛行機の騒音に悩まされてきた地区の住民に、更に負担を強いるのは問題だ。
- 一部の住民の都合で反対しても、地域工ゴになってしまうのではないか。
- 現在も千葉ばかりが負担を負っているのは不公平なので、新たな飛行経路にもっと分散してほしい。

【**合理性**】

- メリットに比べてデメリットのほうが大きいのではないか。増便に伴うコストと便益を比較して判断してほしい。
- 様々な案を検討してきた結果の提案とのことだが、複数の選択肢を同時に示すべきではないか。
- 現場のパイロットや管制官の意見も参考にすることがよい。

【**各分野の安全対策（機体、航空従事者、管制・空港など）**】

- 機体整備やパイロットの定期的なチェックをより厳しくする必要がある。
- 外国の航空会社に対しても、国内航空会社と同等の安全監督を実施してほしい。
- 基準を満たさない外国の航空会社などは乗り入れを制限してほしい。
- 発着回数の増加に対応できるよう管制機能を強化する必要がある。
- 安全性の向上のために、パイロットや管制官等の教育や心身の健康検査を徹底してほしい。
- 整備士の待遇の改善などに努めることで、安全確保のためのモチベーションを上げてほしい。
- 安全性に疑問があるので、LCC の発着数は増えてほしくない。

【**落下物対策**】

- 落下物対策をしっかりと行ってほしい。
- 車輪を降ろす際に落下物が生じることがあると聞いている。車輪を降ろす際のルールを決めておく必要があるのではないか。
- 落下物や騒音対策をすると言われても防ぎきれないと思うので、不安の解消にならない。
- 氷塊などの飛行機からの落下物だと特定しづらいものによる被害に対しても、補償を検討してほしい。

【**万が一の場合の対応**】

- 事故・トラブルが発生した場合にどう対処するのか、被害を最小限にできるようにしてほしい。
- 事故が起きた場合の責任の所在を明確にしてほしい。飛行経路を定めた国にも責任があることを肝に銘じてほしい。
- 事故が起きた場合の補償が、確実になされるようにしてほしい。
- 落下物により被害を受けた場合に、対応や補償がしっかりとされる様にしてほしい。

【**保安対策等**】

- テロやハイジャック等の対策を強化する必要がある。

【**その他**】

- ハードストライクに対する安全対策を徹底してほしい。
- 事故が起きた際の処罰制度の確立や厳罰化、事故情報の公開などを行い、安全を確保してほしい。

### 情報・相談窓口に関すること

【**モニタリング・飛行情報**】

- 時間帯や場所を考慮して騒音を測定し、生活への影響を十分に調

### コミュニケーション方法

【**周知**】

- 今回の提案について、もっと多くの人に周知すべきである。
- インターネットや広報紙、メディアの活用など、様々な手段を使い、説明会の周知を図る工夫が必要ではないか。
- 関連自治体との広報における協力体制を整え、周知を図ってほしい。

【**説明会の開催場所・日時・回数**】

- よりきめ細かく開催してほしい。影響があるのに説明会が近隣で開催されない地区がある。
- よりアクセスが良く、よりスペースが広い会場で開催してほしい。
- 説明会の回数を増やし、時間帯の延長や週末開催なども行って、より多くの人に参加できるようにしてほしい。

【**意見の反映**】

- 住民の意見をしっかりと聞き、反映してほしい。
- 説明会や意見収集等は、アリバイ作りではないのか。

【**説明や対話の手法**】

- 機能強化の必要性や実現方策が理解でき、意見や質問が個別に言えるので、この様な説明会が開催されるのは良いことだ。
- 丁寧に住民説明、意見聴取を行い、不安の払拭に努めてほしい。
- 今回の説明を聞いて不安が解消し安心した。
- 住民間で意見共有がしにくい。集會型、教室型の説明会も開催してほしい。
- パネル展示型の説明会だけではなく、多様なコミュニケーション方法での対話等を更に充実してほしい。
- ホームページのコンテンツを更に充実させ、更新の頻度も高めてほしい。

【**その他**】

- 職員の対応が丁寧で良かった。
- 質問に対して的確な回答が得られるように、知識と責任がある人に対応してほしい。
- 意見を聞くだけでなく、質問に回答する場や決定内容を報告する場を設けてほしい。
- 実際に体験しないと影響がわからないので、試験飛行（テスト飛行）を実施した上で意見を聞いてほしい。
- 特設電話窓口について、ナビダイヤルではなくフリーダイヤルにしてほしい。
- 特設電話窓口の受付時間が短すぎる。夜間や休日も開けてほしい。
- 意見要旨が恣意的なものであってはならない。
- 不動産物件の紹介時に示せる資料があるとよい。
- 試験飛行をすれば、騒音の影響はさほどないことがわかり、不安が解消されるのではないか。

### 情報提供

【**更なる情報提供**】

- 機能強化における新飛行経路の必要性をより詳しく説明することが重要である。
- 現飛行経路に関するより詳しい情報がほしい。
- 騒音の範囲や想定値を、より詳細に示してほしい。
- 音や経路、高度などについて、現在示されているものよりももっと細かい地域別の詳細情報があると良い。
- 騒音や安全対策などの説明を更に充実してほしい。
- 天候や風向きによる運用割合、時間帯、飛行回数などの詳細な情報がほしい。
- 安全性に対する不安を払拭できるようなデータを示してほしい。
- 説明資料で示されているデータの算出根拠を教えてください。
- 事故発生や被害想定などリスクに関するデータや、万が一の事故時の対応を教えてください。

査してほしい。

- 飛行状況をしっかりモニタリングし、高度やルートを遵守するようにしてほしい。
- 新飛行経路運用開始後も継続的なモニタリングをして、環境の変化を調査してほしい。
- 最近飛行機が上空を飛んでいるのを目にする機会が多くなったように思う。既に試験飛行を行っているのではないか。
- 飛行経路や運用情報を HP 等でわかりやすく示してほしい。
- 落下物が生じた場合、周辺住民に速やかに情報の共有・提供をしてほしい。

【**相談・情報窓口**】

- 騒音等についての苦情や問い合わせのためのわかりやすい窓口は必要であると思う。ぜひ設けてほしい。
- 電話口ではわかりにくいところもある。直接担当者と話ができる窓口を設けてほしい。

### 周辺環境・アクセスに関すること

【**周辺環境・まちづくり**】

- 機能強化とともに、宿泊施設や交通インフラ、国際交流拠点等を整備するなど、周辺のまちづくりを進めてほしい。
- 羽田空港周辺の交通網の整備などによって地域の利便性が向上すれば、住民にとってメリットになるのではないか。

【**空港アクセス等の整備**】

- 深夜・早朝時をはじめ、羽田空港のアクセス充実に取り組んでほしい。
- 空港ターミナルやサービスの充実、24 時間化を進めてほしい。

### 将来的な対策

【**技術の進展に伴う飛行経路の見直し**】

- 管制技術などを進歩させ、将来的には飛行経路を更に見直してほしい。

【**滑走路の整備等による飛行経路の見直し**】

- 滑走路の新設や既存滑走路の延伸、配置の見直しなどによって、将来的には更なる影響の軽減を図ってほしい。

【**将来動向の見極め**】

- 将来的な需要や社会動向の変化に対応できるように、継続的に検討を行い、その時々状況に応じて計画の見直しをしてほしい。
- 飛行経路の決定にあたっては、期間を定めて飛行経路の見直しを行うことを明示してほしい。

- 都市上空を飛行経路とする他都市の事例について、飛行状況や周辺対策などを含めて教えてほしい。

- 機能強化にかかる費用などを教えてほしい。
- 新飛行経路の影響を調査して示してもらわないと納得できない。
- 最近の飛行機は安全性や静穏性が高まっているし、ましてや戦闘機とは状況が異なる。そうしたことをもっと PR すべきではないか。

- 新飛行経路の提案の背景について、より詳しい情報がほしい。
- 防音工事以外に個人でできる騒音対策の情報を示してほしい。
- 施設整備とは具体的に何をするのか示してほしい。
- 都心上空を飛行することのメリットをもっとアピールしてほしいか。
- より詳細がわかるような飛行経路図を HP や配布物に掲載してほしい。
- 防音工事の対象地域は、周辺の建物の状況などを踏まえ、窓開放時も考えた上で決めてほしい。
- 万が一、落下物等の事故が生じた場合の補償制度や範囲などを教えてほしい。
- 情報量が少ないので社会や生活にどんな影響があるのか判断ができない。もっと詳しい情報がほしい。
- オープンハウスは期間が限られているので、常設の情報拠点を設けるなど、いつでも見られる工夫をしてほしい。

【**わかりやすさ**】

- 住民にとってわかりやすい情報提供を心がけてほしい。
- 説明内容がよくわかった。理解できた。
- 騒音影響の評価指標を Lden（24 時間平均）にすることで、影響範囲を意図的に狭めて見せているのではないか。
- 外国人居住者への説明も必要なので、英語の資料も作成してほしい。
- 新飛行経路での運行時間帯が限定されていることをもっと周知すべき。

【**表現方法の工夫（音や映像等による再現など）**】

- 想定される音を体験したことで影響が判断できた。不安が解消できて良かった。
- 飛行機が次々に飛んでくる状況やもっと経路から離れた場所での音、家屋内での聞こえ方など、実際に近い様々な状況を再現してほしい。
- ヘッドホンだけでは実感がわかない。実際の音を聞いてみたいので試験飛行（テスト飛行）をしてほしい。
- 音の体感コーナーの映像を、説明会に参加した人以外も視聴できるようにしてほしい。
- 説明資料は、表現や文字の大きさに配慮し、説明会会場のパネル展示の方法や動線も見やすいように考えてほしい。
- 展示パネルを資料にしたものや飛行機の見え方がわかる映像、騒音シミュレーターのデータなどを配布したり、ネットで見られる様にしてほしい。
- 現飛行経路下で類似の状況を体験したいので、場所の情報を教えてください。
- ヘッドホンでは実際の音を感じるには十分ではないので、体験ブースを作ってほしい。

【**方策策定および運用開始以降の取り組み**】

- 決定された方策の内容（飛行経路、高度、便数、騒音値など）については、引き続き情報を提供してほしい。
- 新経路での運用開始後も住民の意見を聞く場を設けてほしい。
- オリンピック後に運航するのか情報提供してほしい。

### その他

- 新飛行経路についてテレビや新聞で報道される情報が不十分なので、もっと積極的にメディアに情報提供し、報道してもらうべきではないか。